

## クールスカルプティング (クールスカルプティング コントロールユニット)

### 【禁忌・禁止】

#### <適用対象（患者）>

- 以下の症状のある（又は疑いのある）者には適用しないこと。
  - ・クリオグロブリン血症、寒冷凝集素症、発作性寒冷色素尿症 [冷却により貧血等の症状が発生するおそれがあるため。]

#### <使用方法>

- 次の部位には使用しないこと。
  - ・上腕内側部 [尺骨神経を圧迫すると、一時的に神経障害を起こすおそれがあるため。]
  - ・膝窩部 [深部静脈血栓症のリスクを高めるため。]
  - ・顔、頭部、頸部、生殖器、鼠径部、腋窩部、肘窩、手掌部、足部など、冷却が適さない、吸引することに問題のある、又はフラットアプリケーションが適用できない部位 [機器の効果がでない、又は機器の機能により悪影響を与えるおそれがあるため。]
  - ・開放創や感染創がある部位 [悪化するおそれがあるため。]
  - ・末梢循環障害のある部位 [悪化するおそれがあるため。]
- 施術中に患者に他の医用電気機器を使用しないこと。[システムが正しく機能するのを妨げることがあり、患者に傷害を与える可能性があるため。]

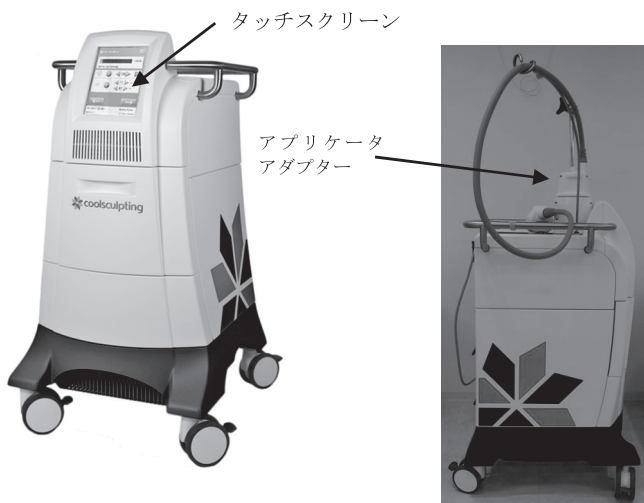
### 【形状・構造及び原理等】

#### (1) 構成

- ・本体
- ・電源コード
- ・アプリケーションアダプター

#### <他に組み合わせて使用する機器>

- アプリケーションアダプター
- クールスカルプティング 吸引型アプリケーションアダプター  
製造販売届出番号：13B1X10104003001
- クールスカルプティング フラットアプリケーションアダプター  
製造販売届出番号：13B1X10104003002



### クールスカルプティング アプリケーター一覧

販売名	種類名	推奨する 適応部位	アプリケーション アダプター
クールスカルプティング 吸引型アプリケーションアダプター	CoolMax	下腹部	併用可
クールスカルプティング 吸引型アプリケーションアダプター	CoolCore	腹部	併用可
クールスカルプティング 吸引型アプリケーションアダプター	CoolCurve+	側腹部	併用可
クールスカルプティング 吸引型アプリケーションアダプター	CoolFit	太腿内側	併用可
クールスカルプティング 吸引型アプリケーションアダプター	CoolMini	顎下	必須
クールスカルプティング 吸引型アプリケーションアダプター	CoolAdvantage	側腹部 腹部 太腿内側	必須
クールスカルプティング 吸引型アプリケーションアダプター	CoolAdvantage Petite	側腹部 太腿内側	必須
クールスカルプティング 吸引型アプリケーションアダプター	CoolAdvantage Plus	腹部 側腹部	必須
クールスカルプティング フラットアプリケーションアダプター	CoolSmoothPro	太腿外側	併用可

#### (2) 電気的定格

定格電圧：100VAC  
周波数：50/60Hz  
消費電力：1,300VA

#### (3) 機器の分類

電撃に対する保護の形式：クラス I 機器  
電撃に対する保護の程度による装着部の分類：BF形装着部

#### (4) 使用環境

周囲温度 15～28℃  
相対湿度 10～70%

#### (5) 原理

本品は、脂肪減少を望む部位の皮下脂肪を経皮的に冷却することで、脂肪厚を減少させる装置であり、施術部位に取り付けるアプリケーションアダプター（製造販売届出用品）を接続して用いる。施術部位の形状によって取り付けるアプリケーションアダプターを選択するが、どの形状の部位に対しても原理は同じである。

本品は、アプリケーションアダプターに内蔵された温度センサーからの情報を受けて、アプリケーションアダプター内のペルチェ素子に供給する電流を制御し、冷却温度をコントロールするとともに、組織凍結などの危険性を感知する。本品の冷却効果は冷却効率（CIF = Cooling Intensity Factor）として設定している。この値は、皮下組織温度と脂肪細胞の結晶化温度の差、冷却板の面積、組織の熱の拡散率、施術時間から計算されており、組織から熱量を吸収する場合は正、組織に熱量を与えた場合は負の数字として表わされる。

取扱説明書を必ずご参照ください。

## 【使用目的又は効果】

本品は、部分的に皮下脂肪を冷却し、減少させる装置である。  
なお、本品は体重の減少を意図するものではない。

## 【使用方法等】

本品は別途製造販売届出しているアプリケータを接続して用いる。

アプリケータは大別すると「吸引型アプリケータ」と「フラットアプリケータ」の2タイプがあり、種類に応じたゲル、ゲルパッド、パッドのいずれかと、ライナーを使用する（CoolAdvantage、CoolAdvantage Petite、CoolAdvantage Plusはライナー不要）。また、アプリケータの種類によっては、フォームボーダー、ストラップが必要なものもある。本品が、アプリケータの種類と患者の施術状況を識別するために、アプリケータ又はアプリケータアダプターにCoolカードを挿入する。

### (1) 使用方法等

#### 1. 使用準備

- ① 施術部位に合わせてアプリケータを選択する。
- ② アプリケータに破損がないか確認する。
- ③ 使用するアプリケータに応じて、アプリケータに必要なライナー等に破損がないか確認して取り付け、Coolカードを挿入する。

#### 2. 操作手順

- ① 本品の電源を入れる。
- ② アプリケータのコネクターを本品のコネクターに差し込み、ロックする。CoolMini、CoolAdvantage、CoolAdvantage Petite、CoolAdvantage Plusはアプリケータアダプターを介して接続する。（アプリケータアダプターには全てのアプリケータが接続できる。）
- ③ アプリケータが正しく装着されたこと、Coolカードが正しく挿入されていることをタッチスクリーンのチェックで確認する（図1）。
- ④ 使用するアプリケータごとに適切なゲル／ゲルパッド／パッド、フォームボーダーを施術部位に装着する。
- ⑤ 施術部位の中央に、アプリケータの中央が来るようにアプリケータを装着する。  
フラットアプリケータ、CoolMiniアプリケータの場合は、ストラップでアプリケータを施術部位に固定する。
- ⑥ 吸引型アプリケータを使用する場合は、アプリケータのタッチパッドのバキュームボタンを押す。
- ⑦ タッチスクリーンの施術開始ボタンを押して施術を開始する（図2）。

[注] 施術中の緊急停止は、アプリケータのタッチパッドの施術ボタンを押す。



図1 Coolカードの挿入



図2 施術開始ボタン

### 3. 終了後

- ① 施術終了のメッセージを確認してから、吸引型アプリケータの場合は、アプリケータのタッチパッドのバキュームボタンを押し、吸引を停止する。  
フラットアプリケータ、CoolMiniアプリケータの場合は、ストラップを外す。
- ② アプリケータを施術部位から取り外す。
- ③ ゲル／ゲルパッド／パッド、フォームボーダー等を施術部位から外し、皮膚に残ったゲルをふき取る。
- ④ ライナーをアプリケータから取り外す。アプリケータは、次回に備えて清潔にする。
- ⑤ 本品の電源を切る。

### (2) 施術間隔

2ヵ月の間隔を目安として施術効果を確認した後に次の施術を行うこと。

#### <使用方法等に関連する使用上の注意>

使用中に安全上の問題が発生した場合、操作において異常が発生した場合は施術を中止し、製造販売業者へ連絡のこと。

#### \*\*【使用上の注意】

##### (1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

- ・寒冷蕁麻疹やレイノー病などの寒冷過敏症
- ・皮膚感覚障害 [有害事象の発生に気づくのが遅れるおそれがあるため。]
- ・出血性疾患がある、血液抗凝固剤を使用している [出血等の症状に悪影響を与えるおそれがあるため。]
- ・施術部位に最近手術を受けた場合や瘢痕組織がある [炎症がひどくなるおそれがあるため。]
- ・施術部位又はそのすぐ近くにヘルニアがある [悪化させるおそれがあるため。]
- ・施術部位に湿疹、皮膚炎、発疹などの皮膚症状がある [悪化させるおそれがあるため。]
- ・帯状疱疹後神経痛や糖尿病性神経障害などの神経障害 [悪化させるおそれがあるため。]

##### (2) 重要な基本的注意

- ・本品による施術によって、有害事象が発生する可能性があることを予め患者に説明すること。特に、0.033%の頻度で発生する可能性がある逆説的過形成は、永続的な事象で、改善させるためには外科的処置（脂肪吸引等）\*\*が必要となることを説明すること。  
（※2021年8月までに行われた海外における市販後調査結果）  
（※※2017年時点での知見に基づく情報）
- ・金属製インプラントを使用している部位については、使用例がなく、安全性が確立されていない。
- ・皮下脂肪の厚さが1cm未満の部位には使用しないこと。[十分に吸引できない、又は下部の筋肉との距離が近く、血流による加温効果で十分冷却ができないため。]
- ・BMIが30以下の患者に使用すること。[BMIが30を超えた患者についての有効性は確認されていない。]
- ・舌下神経、下顎縁枝、及び顎下腺付近の施術は慎重に行うこと。[舌、口腔内、顎の機能低下をまねくおそれがあるため。]
- ・慢性疼痛、寒冷過敏症、不安障害を有する患者は、施術中に不快感をより強く感じやすい場合がある。
- ・2ヵ月の施術間隔をあけたとしても、同一部位に対する施術は2回までを上限とし、必要以上の施術は行わないこと。[2回を超えた繰り返しの施術に対する安全性は確認されていない。]

取扱説明書を必ずご参照ください。

**(3) 不具合・有害事象**

2015年1月～2021年8月の期間に入手した市販後調査の結果をもとに、発現率を記載した。

＜重大な有害事象＞

深部静脈血栓症、逆説的過形成 (0.033%)

＜その他の不具合＞

ラッチの破損、アプリケーションの破損・ひび、カードが認識されない、ノイズ、冷却液又は吸引圧の漏れ、ライナー粘着不良、サーミスタ不良、タッチパッド認識不良、冷却不良

＜その他の有害事象＞

疼痛 (0.017%)、重度の色素沈着 (0.009%)、凍傷 (0.006%)、施術部位の分界 (0.005%)、血管迷走神経反射 (0.003%)、皮下硬結 (0.003%)、脂肪組織炎 (0.002%)、ヘルニア (0.001%)、ピリピリ感、刺痛、うずき、痙攣、拘縮、過敏症、掻痒感、しびれ、発赤、腫脹、組織の凍結、皮膚反応、感覚異常、泌尿器又は生殖器の異常、胃腸の異常、発熱、震え、アレルギー反応、浮腫、低色素沈着、内出血

**(4) 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用**

- ・妊婦中又は授乳中の者に対して施術を行うことについては、使用経験がなく、安全性が確立されていない。
- ・小児に対して施術を行うことについては、使用経験がなく、安全性が確立されていない。

**【臨床成績】**

米国において、下記の標題の臨床試験を実施した。

ZA10-001 Non-Invasive Reduction of Abdominal Fat (腹部脂肪の非侵襲的減少)

ZA12-005 Clinical Study Report - Non-Invasive Reduction of Fat in the Flanks of Patients with Sharp Body Curvature (身体曲率が大きい患者における側腹部の非侵襲的脂肪減少)

**(1) ZA10-001試験**

＜目的＞

治療機器を用いて冷却することにより、腹部の脂肪の減少を評価するため、施術前と施術後16週目で腹部の輪郭に識別可能な変化が得られるかを写真判定により比較する。

＜試験の種類＞

前向き、多施設共同試験

＜対象＞

腹部に肉眼で確認できる量の脂肪が付いている者で、施術前の月から10ポンド (約4.5kg) 以上の体重変動がなかった者

＜症例数＞

60例 (アジア人2例)

＜方法＞

【主要評価項目】

3人の評価者により、施術前と施術後16週目の対の腹部画像の識別が正確にできる割合を評価

【副次評価項目】

施術領域と対照領域の超音波画像から、脂肪層の厚さを測定

＜結果＞

【主要評価項目】

・85.3%が正確に識別

【副次評価項目】

・平均1.9mm脂肪層の厚みが減少した

＜有害事象＞

重篤な有害事象はなかった

観察	9週目経過観察 (2回目の施術後1週間目) (58例の被験者)			16週目経過観察 (60例の被験者)				
	なし	わずかに	中等度	重篤な	なし	わずかに	中等度	重篤な
紅斑	56	2	0	0	60	0	0	0
浮腫	49	7	1	1	60	0	0	0
しびれ/刺痛	27	22	9	0	59	1	0	0
白色化/脱色	58	0	0	0	60	0	0	0
紫斑	52	6	0	0	60	0	0	0
その他	47	3	8	0	60	0	0	0

**(2) ZA12-005試験**

＜目的＞

治療機器を用いて冷却することにより、側腹部の脂肪の減少を評価するため、施術前と施術後16週目で側腹部の輪郭に識別可能な変化が得られるかを写真判定により比較する。

＜試験の種類＞

前向き、単一施設試験

＜対象＞

側腹部に肉眼で確認できる量の脂肪が付いている者で、施術前の月から10ポンド (約4.5kg) 以上の体重変動がなかった者

＜症例数＞

25例 (アジア人13例)

＜方法＞

【主要評価項目】

3人の評価者により、施術前と施術後16週目の対の側腹部画像の識別が正確にできる割合を評価

【副次評価項目】

施術領域と対照領域の超音波画像から、脂肪層の厚さを測定

＜結果＞

【主要評価項目】

・78.2%が正確に識別

【副次評価項目】

・平均1.3mm脂肪層の厚みが減少した

＜有害事象＞

重篤な有害事象はなかった

観察	8週目経過観察 (25例の被験者)			16週目経過観察 (25例の被験者)				
	なし	わずかに	中等度	重篤な	なし	わずかに	中等度	重篤な
挫傷	25	0	0	0	25	0	0	0
紅斑/紫斑	25	0	0	0	25	0	0	0
浮腫/腫脹	25	0	0	0	25	0	0	0
しびれ感	23	2	0	0	25	0	0	0
ピリピリ感	25	0	0	0	25	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	0	0	0

**【保管方法及び有効期間等】**

(1) 保管方法

常温、常湿 (結露を生じない) で保管すること。

(2) 耐用期間

5年間 [自己認証 (当社データ) による] (但し、指定された保守・点検ならびに消耗品の交換を実施した場合に限る。)

**【保守・点検に係る事項】**

(1) 使用者による保守点検

本装置を安全に使用するために、年1回定期点検を行うこと。取扱説明書を参照のこと。

＜清掃時の注意事項＞

・事前に電源プラグをコンセントから抜くこと。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ・本体及び付属品を液体に浸したり、それらに液体を吹き付けたりしないこと。
- ・中性洗剤もしくはお湯等の推奨されたものを使用すること。

(2) 業者による保守点検

本装置を安全に使用するために、年1回定期点検を行うこと。  
なお、詳細は取扱説明書を参照すること。

**【承認条件】**

冷却による皮下脂肪の減少に関連する十分な知識を有する医師が、  
施術に伴う合併症等の知識を十分に習得した上で、使用目的及び使用  
方法を遵守して本品を用いるよう、必要な措置を講ずること。

**【主要文献及び文献請求先】**

アラガン・ジャパン株式会社 お客様相談窓口

TEL：0120-404-100（9：00～18：00／土日祝日及び当社休業日を  
除く）

FAX：0120-085-235（24時間受付）

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：アラガン・ジャパン株式会社

製造業者：ゼルティーク エステティックス インク（Zeltiq  
Aesthetics, Inc.） 米国

取扱説明書を必ずご参照ください。